



INSURANCE  
INFORMATION  
INSTITUTE

2020

# インシュアランス ファクトブック





## 読者の皆様へ

新たな10年を迎えるにあたり、保険業界はとて大きな課題を抱えています。2017年と2018年の山火事シーズンに生じた大災害の保険損害は、カリフォルニア州だけで220億ドルから360億ドルと推定され、2017年から2019年に生じた大西洋ハリケーンによる損失は、750億ドルから970億ドルと推定されています。この10年間で生じたことは、一部で言われるように新たな異常を予兆しているのかもしれない。

今年の米国保険情報協会インシュアランスファクトブックでは、この10年間に保険会社が直面する新たなリスクを示す重大な変化についてご紹介します。新たなセクション「新たに発生し進化する保険問題」では、ソーシャルインフレーション、サイバーセキュリティ、異常気象について詳述しています。また、ホームオーナーズ保険のハイリスク市場に関するセクションを追加し、発生損害とともに沿岸部の人口や高潮のリスクチャートを記載しました。企業種目のセクションでは、マリファナと労災保険をめぐる問題について、米国保険情報協会の白書「*Haze of confusion*」を引用して解説しています。第8章 損害では、大規模な自然災害と人為的災害についてより重点を置いた構成としました。本書では、米国保険情報協会とJ.D.Powerの共著「*2019 Small Business Cyber Insurance and Security Spotlight Survey*」のハイライトとともに小規模事業者のサイバーセキュリティの現状をについても概観します。

インシュアランスファクトブックは、米国保険情報協会のウェブサイト ([www.iii.org](http://www.iii.org)) とあわせて使用されることを企図しています。米国保険情報協会は、一般の方々、保険会社、規制当局およびメディアにとって信頼できるタイムリーな情報を提供し、皆様の重要な情報源であり続けていきます。SNSは米国保険情報協会と交流を続ける更なる手段です。我々のFacebookページにて、またTwitter (@[iiorg](https://twitter.com/iiorg) または @[III\\_Research](https://twitter.com/III_Research)) でのフォローや、LinkedInでの連絡をお待ちしております。

業界統計収集にご尽力いただき、データの使用を快く承諾していただいた団体やコンサルタントをはじめとした皆様に感謝いたします。

新たな10年が良いことを祈念します。



**Sean Kevelighan**  
米国保険情報協会会長

米国保険情報協会発行の「2020インシュアランス ファクトブック」は、保険関連の問題に関する主要な情報発信、分析および照会のための機関である米国保険情報協会が刊行している。「ファクトブック」は、数多くの情報源から集められたデータを含んでいる。こうした情報源は、様々な方法でデータを定義し収集しており、さらにそのデータの洗い替えを常に行っているため、同種のデータ間での相違が生じ得る。

©2020 米国保険情報協会。ISBN 978-0-932387-83-7.

<b>保険業界の概観</b> .....	<b>V</b>
<b>第1章 世界の保険市場</b>	
保険料 .....	1
再保険 .....	5
主要グループ .....	7
国際販売 .....	9
キャプティブおよびその他のリスクファイナンス手法 .....	10
マイクロインシュアランスおよび新興国市場 .....	11
<b>第2章 米国保険業界、全部門</b>	
保険料 .....	15
主要グループ .....	17
健康保険 .....	18
雇用およびその他の経済的貢献 .....	19
M & A(合併・買収) .....	21
州別保険会社数 .....	25
州別保険料税 .....	26
<b>第3章 募集</b>	
損害保険 .....	27
生命保険 .....	29
年金 .....	30
<b>第4章 退職後保障</b>	
概観 .....	31
個人退職口座(IRA) .....	34
401(k) .....	35
ミューチュアルファンド .....	35
年金 .....	36
<b>第5章 生命保険業界の財務データ</b>	
財務成績 .....	39
投資 .....	42
支払金 .....	43
種目別保険料 .....	44
主要グループ .....	48
分離勘定 .....	50
<b>第6章 損害保険業界の財務データ</b>	
財務成績 .....	51
投資 .....	58
サープラスライン .....	60
集中度 .....	61
再保険 .....	62
州別保険料 .....	63
州別発生損害額 .....	64
支払保証基金 .....	65



## 第7章 米国損害保険の種目別状況

種目別保険料.....	67
自動車保険:保険料.....	74
自動車保険:コスト/支出額.....	77
自動車保険:支払保険金.....	82
自動車保険:高リスク市場.....	83
自動車保険:法律.....	85
ホームオーナーズ保険:保険料.....	99
ホームオーナーズ保険:高リスク市場.....	100
ホームオーナーズ保険:コスト/支出額.....	108
ホームオーナーズ保険:支払保険金.....	111
洪水保険.....	116
地震保険.....	121
企業種目.....	123

## 第8章 損害

大規模異常災害:世界.....	139
大規模異常災害:米国.....	144
米国自然災害:ハリケーン、原野火災、竜巻、冬の嵐、洪水、地震、雹災.....	147
米国人為的災害:火災、テロリズム、原子力事故.....	166
犯罪:放火.....	175
犯罪:財産犯罪.....	176
犯罪:サイバー盗難と個人情報盗難.....	177
自動車:事故.....	185
自動車:盗難.....	196
レクリエーション.....	198
航空機.....	202
就業中の損害.....	205
家庭内事故.....	208
死因.....	209

## 第9章 コストに影響を及ぼす要因

財とサービスの費用.....	213
詐欺.....	217
訴訟問題.....	219

## 付録

新たに発生し進化する保険問題.....	227
米国保険情報協会の刊行物等.....	232
米国保険情報協会加盟会社.....	233
米国保険情報協会のスタッフ.....	234

## 保険業界の概観

- S&P Global Market Intelligence 社によると、2018 年の米国保険業界の正味収入保険料は 1.22 兆ドル、内訳は損害保険会社が 51%、生命保険・年金会社が 49% であった。
- 損害保険は、主に自動車保険、住宅所有者保険、企業保険などで構成される。同部門の正味収入保険料は、2018 年には 6,180 億ドルとなった。
- 生命保険・年金部門は、年金、健康保険、生命保険などで構成される。同部門の正味収入保険料は、2018 年には 6,006 億ドルとなった。
- 民間の医療保険のほとんどの契約は、健康保険に特化した会社が引き受けている。生命保険会社や損害保険会社もまた、健康保険を取り扱っている。S&P Global Market Intelligence 社によると、2018 年の民間医療保険の元受保険料は 9,196 億ドルで、その内訳は健康保険会社が 7,156 億ドル、生命保険・年金会社が 1,975 億ドル、損害保険会社が 65 億ドル。健康保険会社の数値には、政府プログラムも含まれる。
- 2018 年における属領を含む米国の保険会社数は 5,965 社であった。全米保険庁長官会議によれば、内訳は損害保険会社 2,507 社、生命保険・年金会社 841 社、健康保険会社 931 社、共済保険組合 82 社、タイトル保険会社 60 社、リスク保有グループ 239 社、その他 1,305 社であった。
- 米国経済分析局によれば、2018 年、保険会社および関連事業は 5,645 億ドルと、米国の国内総生産 (GDP) の 2.8% を占めた。
- S&P Global Market Intelligence 社によれば、2018 年における損害保険会社の現金・運用資産は 1 兆 7,000 億ドルであった。また、生命保険・年金会社の現金・運用資産は 4 兆 1,000 億ドル、特別勘定資産・その他の投資は 2 兆 5,000 億ドルであった。損害保険会社と生命保険・年金会社の合計は 8 兆 3,000 億ドルであり、これらの資産の大半は債券であった (損害保険会社資産の 60%、特別勘定資産を除いた生命保険・年金会社資産の 72%)。
- 米国商務省によれば、2018 年、損害保険会社および生命保険・年金会社は保険料税 225 億ドルを支払った。これは米国居住者 1 人当たり 69 ドルに相当する。
- Verisk Analytics 社のプロパティ・クレーム・サービス部門によれば、2018 年、損害保険会社は異常災害による財物損害として 495 億ドルを契約者に支払っている。この額は、プロパティ・クレーム・サービス部門が 1949 年に保険金支払データの収集を開始して以来の最高額となった 2017 年の 1,057 億ドルからは減少している。異常災害の件数は、2018 年は 55 件、2017 年は 46 件であった。
- 米国労働省によれば、2018 年における米国保険業界の雇用は 270 万人であった。このうち、150 万人は保険会社勤務であり、内訳は生命・健康保険会社 87 万 600 人、損害保険会社 62 万 1,800 人、再保険会社 2 万 9,100 人となっている。残りの 120 万人の勤務先は、保険代理店、ブローカーおよびその他の保険関連企業であった (次ページの表「[保険業界における雇用](#)」2009 年-2018 年参照)。

米国損害保険、生命保険・年金の  
保険料 2018 年  
(単位：十億ドル)



損害保険	50.7%	618.0
生命保険・年金	49.3%	600.6
<b>合計</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,218.6</b>

損害保険：再保険取引後の正味収入保険料 (除く州基金)。

生命保険・年金：保険料、年金原資および預託ファンド。

どちらの部門も、健康保険を含んでいる。

出典：S & P Global Market Intelligence 社を情報源とする全米保険庁長官会議 (NAIC) データ、米国保険情報協会

## 保険業界における雇用 :2009年～2018年 (年平均、単位:千人)

年	保険会社				保険代理店・ブローカー および関連サービス			保険 業界全体
	元受保険会社 <sup>1</sup>		再保険	合計	保険代理店・ ブローカー	その他 保険関連 <sup>3</sup>	合計	
	生命・ 健康保険 <sup>2</sup>	損害保険						
2009	802.8	632.9	27.5	1,463.2	653.3	254.2	907.4	2,370.6
2010	804.1	614.3	26.8	1,445.2	642.3	253.1	895.5	2,340.6
2011	788.9	611.6	25.6	1,426.1	649.2	261.1	910.3	2,336.4
2012	811.3	599.5	25.7	1,436.5	659.6	272.3	931.8	2,368.3
2013	813.2	593.7	26.2	1,433.1	672.3	283.5	955.8	2,388.9
2014	829.0	594.7	25.1	1,448.8	720.0	297.1	1,017.1	2,465.8
2015	829.8	611.6	25.1	1,466.5	762.8	309.1	1,071.8	2,538.3
2016	818.9	643.5	25.3	1,487.7	783.5	321.5	1,105.0	2,592.7
2017	850.4	639.7	26.6	1,516.7	809.6	333.3	1,142.9	2,659.6
2018	870.6	621.8	29.1	1,521.5	825.2	343.7	1,168.9	2,690.4

<sup>1</sup> 主として保険の元受を行う企業。

<sup>2</sup> 年金、生命保険、医療健康保険の引き受けに従事する企業を含む。

<sup>3</sup> クレーム・アジャスター、保険基金の第三者管理機関、アドバイザーおよび保険料率算定サービス等の関連サービス従事者。

出典：米国労働省労働統計局